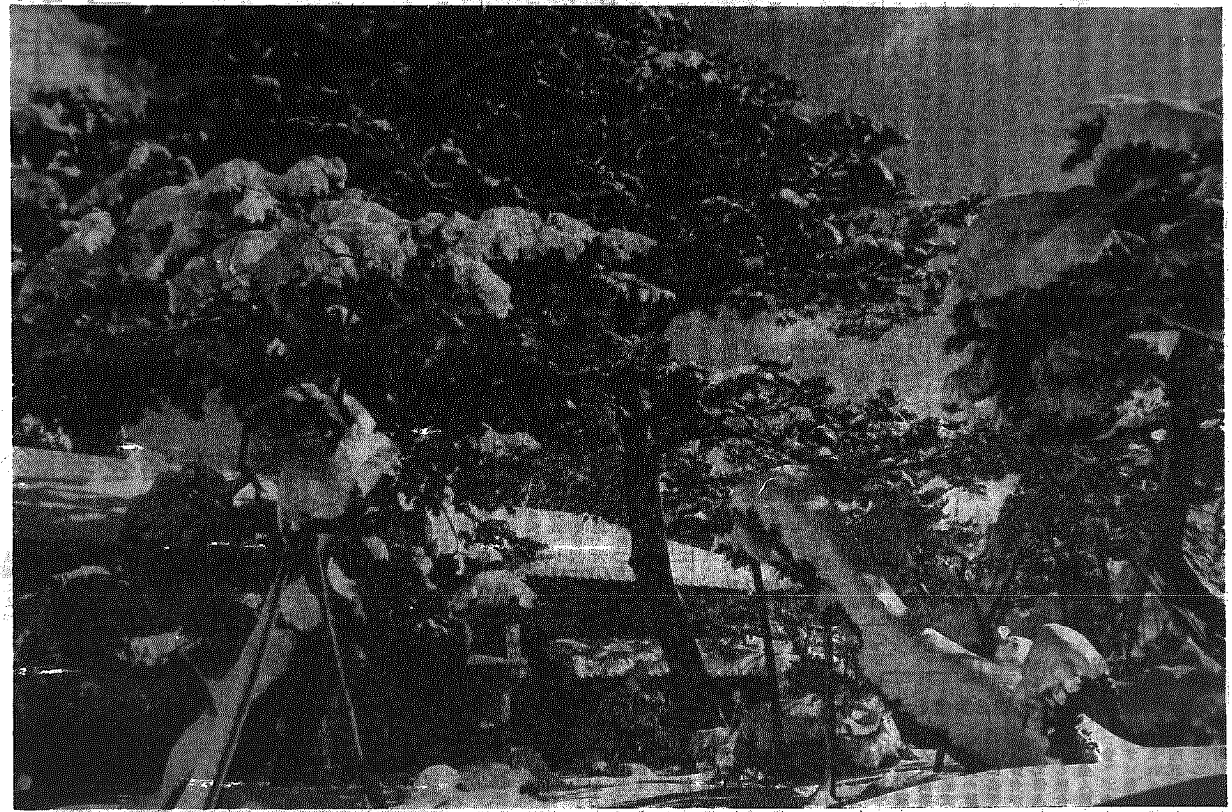
'76 2
No. 45
昭和51年2月1日発行
発行 横越村役場

広報よこごし

おもな内容

1. 納税のお願い（1P）
2. 12月定例議会（2P）
3. 自治功労者を表彰（2P）
4. 読書感想文（3P）
5. 海外研修視察記（3P）
6. 村の史跡の紹介（4P）
7. カルタ取りや
せんべい釣りを（4P）



北方文化博物館 前庭

『納税のお願い』

便利な口座振替を

◎期限内完納にご協力を

最近、不況が伝えられています。そのせいか期限内の納税割合が低くなりました。いろいろご都合もあろうと思いますが、期限に遅れた場合は延滞金が加算されますし、余計に納税が困難になると思われますので、ぜひ期限内に完納くださるようお願いいたします。

◎納税は便利な口座振替で

納税についても預金口座から振替できる制度のあることは、皆様ご承知のことと存じます。

すでに振替納税をご利用になっておられる方は、毎納期にきちんと完納になっております。今更申し上げるまでもありませんが、振替納税をご利用になった場合は、毎納期にわざわざ金融機関や窓口にお出で願わなくともすみ、又何かとお忙しいようなことがあっても、期限内に遅れるようなことがなくてすみますので、まだご利用になっておられない方は、ぜひこの機会にご利用くださるようおすすめいたします。

手続きは簡単です。電話で二一一番、税務課へお問合せください。

◎所得税の申告はお早めに

昭和五十年分の所得税の確定申告と、納税の相談は二月十六日から三月十五日までです。期限間近になりますと税務署の窓口が大変混雑し、落ち着いて相談ができなかったり、長い間待っていただくようなことにもなりますので、申告はできるだけ早い時期に済ませてください。

申告書を書くときには、「確定申告の手引」や、「申告書の書きかた」を参考にしてください。（土地や、建物を売った方などは特別な申告書を使って申告することになります。）

又、還付の申告書を提出される方で、還付される税額が三万円以上の方は、あなたの銀行預金口座へ振込ができますので御利用ください。

また、郵便局から受取りたい方は、あなたの住所地に近い郵便局を指定していただくと早く受取ることができます。

もし、申告や納税についておわかりにならない点がありましたら、お気軽に税務署か税務相談室へお問い合せください。

（贈与税の申告と納税は、二月一日から三月十五日までです。財産を親からもらったときなど、うっかりしている人が案外おられるようです）

◇軽油免税証交付案内◇

―耕耘・代播用―

毎年実施しております耕耘代播用に使用する軽油の免税キップを２月20日に役場で交付しますが、例年のように事務手続きの混乱を防ぐため、事前に受付事務を次により行いますので手続きをされるようご案内します。

1.日　時　2月13日～2月14日

2.場　所　役場第２会議室

3.持参するもの

◎継続申請者は
- 免税使用者証
- 印鑑（共同の場合は全員）

◎新規申請者
- 機械購入証明書
- 印鑑（共同の場合全員）

4.その他

受託耕作のある方は耕作受託証明が必要ですので委託者の印鑑を持参願います。

横文格

今年のお正月は三が日とも晴れ上った青空で、新春とはいいながらまさに春を思わせるような上天気でした。気象台始って以来の珍らしい天気ということでよいお正月を過すことができました。

あるおとしよりから、こういう年は大雪になることが多いから気をつけた方がいいというお話を聞きましたが、そのお話の通り十八日以来の降雪で四十四年以後の豪雪となってしまいました。新潟と雪は逃れられない宿命で、どうしても冬の生活はこの雪の中で過さなければなりません。

「夜々吹雪婆の民話も積つきる。」（新潟俳句大会作品から）日夜雪に閉じこめられての生活です。昔から越後の人は根気強く、物事に辛棒強く堪えていかれるといわれます。大雪に押しつぶされたまゝじっと耐えて、やがて春が来ると起き上ってより一層枝葉を伸ばす樹木のように、その根気強さ、辛棒強さはこの雪の生活が影響している点があるのでしょう。

西郷南州の詩の中の「雪に耐えて梅花うるわしく、霜をへて楓葉あかし。」という句が思い出されます。苦しみや困難を経験してはじめてその真価をあらわすことができるのでしょう。人間もやはりそうなのでしょうか。苦しみを経なければ、困難を経験してはじめてその人の真の姿をあらわすことができるのでしょうか。

戦後子どもの自主性を尊重する教育、個性伸長のため教育ということで、子どもたちが、家庭でも学校でも自由にのびのびと教育され成長してきました。そのこと自体、戦前の教育に較べ改革であり、進歩であると思います。只その意識の正しい理解のないまゝ、子どもが甘やかされ放置で育った一面もあると思います。家庭でも、学校でも、地域社会でも、そのためのきびしさを必要とする面があるのではないでしょうか。